

令和2年 4月 8日(水)

入学式 ～ 新入生316名(全日制)が入学 ～

4月8日、令和2年度入学式は新型コロナウイルス感染防止（職員・生徒・保護者全員マスク着用、換気、時間短縮等）に配慮しながら実施されました。

全日制の入学式では、新入生316名の入学が許可されました。式では国歌斉唱の後、入学許可、校長式辞、来賓祝辞（菊池伸英同窓会長）と続きます。

校長式辞で西岡誠校長は、「本校は、幾多の変遷を経ながら、我が国有数の工業高校として発展を遂げ、今年で111周年を迎えます。新入生の皆さんにとっては、これまで例を見ない環境でのスタートとなりましたが、校訓である『自律・創造・協和限』の精神に基づき、この難局を乗り越るとともに、高校三年間で自己実現を図り、社会に貢献できる人間に育つことを願っています。皆さんが、たくましく生きる力と、優れた人間性を身に付け、社会の様々な分野で活躍するようになれば、きっと、これからの社会はよりよいものになることを確信しています。」と式辞を述べました。

また、菊池伸英同窓会長は新入生に、「皆さんは生命力あふれ、何事にも恐れず目標に向かっていけるエネルギーに満ちあふれています。失敗を恐れず勉学に部活動に真剣に取り組んでください。高い理想を持ち、豊かな創造性を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい若者に成長されるよう強く願っています。」と祝辞を述べました。

一方、新入生代表宣誓では新入生を代表して脇野睦生君（機械科）が「私たち316名は、ただ今入学を許可されました。これからは、松山工業高等学校の生徒として、校則を守り勉学、スポーツに励み、将来、社会に貢献する立派な工業技術者となるよう、努力する覚悟であります。」と宣誓しました。



祝入学式



校長式辞



来賓祝辞(菊池同窓会長)



新入生代表宣誓(機械科 脇野睦生君)



保護者に対するオリエンテーション